

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和4年度評価結果

松阪市企画振興部経営企画課

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

≪ 数値目標 ≫

指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
人口※1	159,774人 (R1)	159,145人 (R2)	157,850人 (R3)	156,324 (R4)			157,950人	E	人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。引き続き人口減少に対応する取組を進める必要がある。
合計特殊出生率※2	1.50人 (H30)	1.45人 (R1)	1.39人 (R2)	1.35人 (R3)			1.74人	E	本市の合計特殊出生率は下降傾向にあり、三重県の出生率1.43より低くなっている。今後も更に子育て環境の充実に取り組む必要がある。
現在の生活への満足度※3	75.0% (R1)	—	78.5% (R3)	76.1% (R4)			77.0%	C	満足度は目標値の77.0%を下回っている。引き続き満足度の上昇に向けた取組を進めていく。

※1 平成27年、令和2年国勢調査より。各年度の基準日は10月1日。住民基本台帳による人口動態（自然増減、社会増減）により各年度の人口を推計したもの（推計人口）。

※2 三重県の人口動態「衛生統計年報 第5表人口動態総覧（率）－保健所・市町別」より

※3 市民意識調査より

≪ 参考資料 ≫ 住民基本台帳による松阪市の総人口（基準日：10月1日）

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
松阪市の総人口（住民基本台帳）	163,644人	162,244人	160,949人	159,423人		
前年との比較		△ 1,400	△ 1,295	△ 1,526	△ 159,423	0

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	定住促進									
基本目標	住みたい・住み続けたいまちをつくります									
	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
	総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	76.7% (R1)	—	80.7% (R3)	75.7% (R4)			80.0%	E	R3市民意識調査と比較し、住みよいまちと感じる人の割合は5%減少した。引き続き定住促進の取組を進めていく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
魅力あるまちづくり	1	転入者数	5,009人 (R1)	4,382人	4,415人	4,787人			5,050人	E	R3と比較すると372人の増加となっているが、現状値である5,009人を下回っており、今後も移住促進に取り組んでいく。
	2	転出者数	5,411人 (R1)	5,000人	4,720人	5,184人			5,347人	A	R3と比較し464人の増加となっている。引き続き雇用創出と連携した移住促進の取組を進める必要がある。
	3	空き家バンク成約世帯数（累計） ※中山間地域	57世帯 (R1)	72世帯	88世帯	111世帯			90世帯	A	空き家バンクの利用希望者は年々増加しているが物件が不足している。引き続き地域と連携した物件登録の促進に取り組んでいく。
	4	住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域	1地域 (R1)	1地域	1地域	1地域			3地域	E	コミュニティ交通ではないが、住民相互による買物支援等に取り組む地域が少しずつ増えてきており、今後も活動を支援していく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○タクシーの運行エリアであるが、路線バス停留所や鉄道駅などまで距離がある虹が丘町自治会が導入するコミュニティ交通を支援しました。(R1～R2) ○地域主体で導入した虹が丘町の乗合タクシーの利用促進について、地域、運行事業者、行政で利便性向上に向けて運行形態について協議しています。(R3～) ○空き家バンク制度を推進し、空き家の有効活用に取り組みました。(H26～) ○地域おこし協力隊を活用し、中山間地域の魅力発信や地域資源の活用、地域を担う人材育成等に取り組みました。(R元年～) ○移住相談総合窓口「まつさか移住交流センター」を拠点に、土日対応で移住・定住促進に取り組みました。(R2～) ○サテライトオフィスを活用し、地域経済の活性化と交流人口・関係人口の増加を促進しました。(R2～) 											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
魅力松阪発信の	5	松阪市ホームページの月平均アクセス数	181,892件 /月 (R1)	312,413件 /月	340,826件 /月	276,073件 /月			200,000件/月	A	R3と比較すると減少しているが、全体的にコロナ関連の検索数が減少しているためと考えられる。引き続き松阪市の魅力発信に取り組んでいく。
	6	SNS（インスタグラム、ツイッター等）の総フォロワー数	5,380件 (R1)	8,306件	9,696件	10,600件			10,000件	A	さまざまな情報発信、キャンペーンの実施によりフォロワー数は増加している。さらに増加に向けて取組を進めていく。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住定住の情報発信を強化するため「移住定住」のサブサイトをリニューアルし、公開した。(R1～) ○松阪市公式インスタグラムでキャンペーンを実施し、フォロワー数の増加を図った。(R1～) ○松阪市内の飲食店のPR・情報発信をするため、松阪市内店舗PR動画「ウチの逸品」を作成・公開した。(R2～) ○観光情報の発信を強化するため、R28から公開している「観光プロモーションサイト」に加えて、松阪市観光インフォメーションサイト「ワクワク松阪」を公開した。(R2～) ○子育て世代が必要な情報をよりわかりやすく発信するため「松阪市の子育て情報サイト」を作成し、公開した。(R3～) ○ホームページ機能の向上など、より探しやすい見やすいホームページをめざし、令和5年2月にホームページのリニューアルを行った。(R4～) 										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	少子化対策									
基本目標	結婚・出産の希望がかない、次世代を担う子どもを健やかに育てるまちをつくれます									
指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価	
子どもたちがのびのび育つ環境への満足度	3.01/5 (R1)	-	3.03/5 (R3)	2.96/5 (R4)			3.10/5	E	R3と比較し、満足度は下がっている。引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。	
子どもたちが安心して教育を受けられる環境への満足度	3.08/5 (R1)	-	3.08/5 (R3)	3.08/5 (R4)			3.15/5	E	R3から満足度は変わっていないため、引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。	

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	-	目標値 (R5)	評価	内部評価
結 婚	1	20～49歳の未婚率	32.2% (R1)	-	36.1% (R2)	38.0% (R4)			31%	E	R3と比較し未婚率が上昇している。結婚は個人の考え方や価値観が尊重されるべきものであるため、市としては結婚・出産や子育ての希望をかなえることができる環境づくりに取り組んでいく。
	<p>これまでの主な取組</p> <p>○出逢い創出事業を通じて、未婚者の結婚意識の高揚を図り、少子化及び定住化対策を目的としてイベントを開催することにより、独身男女に出会いの場を提供した。 (実績)</p> <p>R2=21名参加（カップリングは追わず） R3=56名参加（カップリングは追わず）※令和2年度より、リバーサイド茶倉指定管理委託事業として実施</p>										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
出産	2	産婦健康診査受診率	86.2% (R1)	86.90%	89.00%	100.10%			100.0%	A	R4年度より、受診率を算出する母数を妊娠届出数（結果票交付数）としたが、転入、転出による変動があるため、受診率が100%を超えている。県下集合契約となり、産科での受診体制は整っているため、窓口や医療機関での周知を継続していく。
	3	松阪市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	95.8% (R1)	96.20%	97.70%	96.20%			100.0%	E	健康センターはるるを「松阪版ネウボラ」の拠点とし妊娠・出産・子育てを途切れなく支援するための事業を展開している。R6年度のこども家庭センター設置に向けすべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う体制整備を行っている。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○妊娠・出産・子育て期の途切れのない支援を行う「松阪版ネウボラ」を推進し、松阪版ネウボラの拠点として健康センター（平成27年度～旧健康センター 平成29年度～健康センターはるる）と嬉野保健センター（平成30年度～）を「子育て世代包括支援センター」として活動。 ○新型コロナウイルス感染症対策の一環として家庭での仕事や生活が長期化しがちなライフスタイルの中で、妊産婦や乳幼児の保護者を対象に悩みや不安を軽減するための個別のオンライン相談を実施。（令和2年度～） ○コロナ禍で感染ハイリスクとされる妊婦を対象に健やかな妊娠期を送れるように少人数制でオンラインでのプレママ教室を実施。（令和2年度～） ○多胎児を妊娠中または未就学の多胎児を子育て中の保護者を対象に、多胎児家庭の結びつきと多胎児の育児経験者等の体験談をもとにした交流の機会でも不安の解消を図るサロンを実施。（令和2年度～） ○産後ケア事業の対象者を産後1年未満に拡げ、宿泊型、通所型に加え訪問型を新たに追加し実施。（令和4年度～） ○生後1～2か月の子どもと母を対象にコロナ禍でも安心して交流機会がもてるようオンラインベビールームを実施。（令和4年度～） ○妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近な相談に応じる伴走型相談支援と経済的支援（たまごギフトひよこギフト）を一体的に実施するまつさかさくすく応援パッケージを実施。（令和5年1月～） 										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
子育て	4	保育園の待機児童数（10/1国基準）	117人 (R1)	37人	42人	29人			50人	A	R1と比較し、半分以下を維持できている。新たに開設した私立保育園もR5から受け入れを行うことから、一層の待機児童減が期待できる。
	5	幼稚園の「預かり保育」実施園数	4園/18園 (R1)	4園/18園 (R2)	10園/18園 (R3)	10園/18園 (R4)			10園/18園	A	預かり保育実施園を維持し、幼稚園を利用して就労する保護者等のニーズに対応することができた。
	<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○私立認可保育園の新設、移転・改築に対し支援を実施し、定員増（計389人増）を行いました。（H27わかすぎ保育園：40名増、H28わかすぎ第3保育園：180名増（新設）H30つくし保育園：40名増、R2久保保育園：40名増、R2神戸保育園：30名増、R2山室山保育園：40名増、ちいさな保育園：19名増（新設））（H27～R3） ○公立春日保育園の移転・改築を実施し、定員増（70名増）を行いました。（H30～R2） ○令和5年4月に新しい私立保育園「松阪清泉愛育園」（定員140名）を開設しました。（R5） ○保育園で保育中に体調不良となった園児を医療機関へ送迎・受診する病児・病後児送迎事業を開始しました。（R2～） ○18歳未満の兄弟がいる第3子以降の保育料等を免除するワンモアベイビー支援事業を開始しました。（R2～） ○子育て支援センターにて、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行い、乳児又は幼児及びその保護者の相互の交流をしました。（継続） ○令和元年10月より開始された「幼児教育・保育の無償化」について、保護者周知・対応をはじめ、事業を円滑に開始しました。（R元～） ○公立認定こども園3園（飯南ひまわりこども園、飯南たんぼぼこども園、やまなみこども園）を開園しました。（R2～） ○公立保育園で発生する紙おむつを園での回収処分及び、公立保育園全園で主食炊飯を開始しました。（R3～） ○松阪市立春日保育園で、午後9時までの超延長保育を令和3年10月から開始しました。（R3～） ○公立幼稚園の預かり保育実施園を4園から6園増やし、10園で開始しました。（R3～） ○一時預かり事業幼稚園型を市内幼稚園1園で、令和3年10月から実施しました。（R3～） ○松阪市立保育園で土曜一日保育実施園を3園（第一、春日、三雲南）増やしました。（R4～） ○一時預かり事業で、「多子世帯出産後支援」、「ひとり親負担軽減支援」を実施します。（R4～） ○一時預かり事業で、産後育児負担軽減支援を実施するほか、公立子育て支援センター1か所に併設する形で一時預かり事業を開始。（R5～） 										

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
子どもの教育	6	家庭学習におけるICTの活用度	4.6% (R1)	4.7% (R2)	65.5% (R3)	73.5% (R4)			60.0%	A	感染症の影響により学級閉鎖等になった際は、速やかにオンライン授業へ切り替え、子どもたちの学びを保障した。特に、家庭学習におけるデジタル化の促進に伴い、市内中学校においては、ほぼ毎日タブレット端末を持ち帰り、個々の特性や習熟度に応じた家庭学習に取り組むことが出来た。
	7	学級満足度尺度調査（Q-U）による満足度	59.3% (R1)	62.9% (R2)	63.9% (R3)	66.6% (R4)			65.0%	A	R4年度より「いきいき学校プロジェクト」の柱の一つ「不登校の未然防止」において、居心地のいい学級づくりを進めていくうえで、全小中学校において、ソーシャルスキルと構成的グループエンカウンターを取り入れた「スリンプルプログラム」を導入した。そのこと等により、子どもたちに関わりの力や自己理解が身につき、学級満足度の割合が増加したと考えられる。
	8	1日10分以上読書（授業以外）をしている割合	56.4% (R1)	55.1% (R2)	55.6% (R3)	53.9% (R4)			60.0%	E	新型コロナウイルス感染症流行により、子どもたちの読書環境や読書習慣が変化したことが影響していると考えられる。ポストコロナを見据えて読書環境を充実し、家庭学習や家庭での読書習慣を確立するため、学校、家庭、地域とともに取組を進めていく。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○すべての学校に1人1台のタブレットを整備し、授業等での活用を開始しました（R2～） ○ICTを活用した持ち帰り学習や、感染症対策等により学校に登校できない場合のオンライン学習に取り組みました（R3～） ○「まつさかGIGAフェスタ」を開催し、児童生徒のICTを活用した新たな学びに学校・地域・家庭が一体となって取り組めるよう周知活動を行いました。（R4～） ○すべての学校で週1回（10分間）「スリンプルプログラム（関わり活動の演習）」を導入し、児童生徒の自尊感情・自己肯定感の向上など、自分と他人を認め、尊重していく人間関係の構築をめざしました。（R4～） ○学校読書室へ図書館司書を配置し、環境整備や読書ボランティアの育成を行いました。（継続） ○一部の学校で導入している松阪市図書館と連携のできるシステム及び機器を更新し、業務の効率化を図りました。（R4～） 											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	雇用創出									
基本目標	地域産業の活性化により雇用を生み、みんながいきいきと働けるまちをつくります									
	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
	いきがいをもって働ける魅力ある環境への満足度	2.79/5 (R1)	—	2.85/5 (R3)	2.80/5 (R4)			2.85/5	E	R3と比較して下がっている。引き続き働く場の充実に取り組んでいく。

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
地域産業の振興	1	市内事業所従業者数（工業統計調査）	13,207人 (R1)	13,569人	14,212人	13,911人			13,300人	A	引き続き、雇用の確保に向けて取組を継続していく。
	2	魅力的な商店づくりや中小企業の支援等地域の産業を育てる取組への満足度	2.89/5 (R1)	—	2.93/5 (R3)	2.88/5 (R4)			3.00/5	E	目標達成に向けて関係機関と連携し取組を行っていく。
	3	高校生の地元就職率	40.7% (H26~30平均値)	41.7% (H27~R01平均値)	43.5% (H28~R02平均値)	45.2% (H29~R03平均値)			43%	A	引き続き、若者の地元就職及び地元定着の取組を進めていく。
	4	市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率	48.1% (R1)	50.80%	52.60%	53.90%			60%	D	中心経営体への集積について、関係機関と連携し、進めていく。
	5	実質化された人・農地プラン地区数	100地区 (R1)	104地区	112地区	114地区			120地区	B	令和5年度より農業経営基盤整備基本法の改正により、「人・農地プラン」が法律に定められた「地域計画」に変更されたため、目標変更予定。
	6	モニタリング対象10施設入込客数増減率（平均）	100% (R1)	77%	67%	83%			110%	E	昨年度より増となったものの、依然としてコロナの影響により現状値（R1）を下回る数値となった。引き続きアフターコロナを見据えた取り組みが必要である。
	7	観光消費額(推計)増減率	100% (R1)	67%	51%	69%			110%	E	昨年度より増となったものの、依然としてコロナの影響により現状値（R1）を下回る数値となった。引き続きアフターコロナを見据えた取り組みが必要である。
	8	市内事業者に対する連携支援件数（累計）	11件 (R1)	12件 (12件)	24件 (12件)	34件 (10件)			40件	B	松阪市ハンズオン支援事業の支援先を中心に新商品開発等にかかる連携を推進する。

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

地域産業の振興	これまでの主な取組 ○卒業予定者の地元就職の促進資料として、地元の求人予定事業所の紹介ガイドブックを作成し、管内及び周辺高等学校等に配布する取り組みを行った。（継続） ○事業所の抱える課題解決を図る為、松阪市産業支援センターによる相談窓口の設置、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等を実施（継続） ○豪商のまち店舗改装支援事業にて、市内店舗の改修費用の一部支援を実施（継続） ○起業を志すあらゆる段階にいる女性起業家をフォローする体制を構築し、創業しやすい環境整備を行う。（新規） ○農業委員会等関係機関と連携し、利用権設定や農地あっせんを行った。 ○多面的機能支払交付金に係る「地域資源保全管理構想」のある地域において、実質化した人・農地プランの策定を進めた。 ○市内企業の経営力を強化するため、産学官金連携を支援し、共同開発や販路拡大等を促進しました。（継続）										
施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
企業誘致	9	企業立地件数（累計）	3件 (R1)	4件 (4件)	6件 (2件)	9件 (3件)			12件	C	新規立地及び市内立地企業による再投資を推進する。
これまでの主な取組 ○三重県をはじめ関係機関と連携しながら、企業立地に関する優遇制度をPRし、企業誘致活動を展開しました。（継続） ○新たな産業用地の整備にかかる計画を策定し、公表しました。（新規）											
施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
仕事の創出	10	創業に向けて相談を行っている者	38人 (R1)	35人 (R2)	33人 (R3)	41人 (R4)			50人	E	目標達成に向けてセミナーの充実等ニーズに合った施策を講じ取組を行っていく。
	11	相談支援から創業につながった人数	26人 (R1)	22人 (R2)	18人 (R3)	20人 (R4)			30人	E	目標達成に向けて創業しやすい環境整備等を充実させ取組を行っていく。
これまでの主な取組 ○創業セミナー、子育て世代を対象としたビジネスセミナーを開催。（継続）											
施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
ワーク・ライフ・バランスの推進	12	余暇の充実度	64.6% (R1)	—	64.1% (R3)	66.2% (R4)			65.0%	A	目標値に達しているが、引き続き意識啓発に努めます。
これまでの主な取組 ○ワーク・ライフ・バランスの啓発と普及を目的として、関係課と連携し、啓発に関する資料を市内事業所へ送付しました。											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

分野	地域づくり									
基本目標	地域の絆を深め、安全で安心な住みよいまちをつくりまします									
指標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価	
総合的にみて松阪市は住みよいまちと感じる人の割合	76.7% (R1)	—	80.7% (R3)	75.7% (R4)			80.0%	E	R3市民意識調査と比較し、住みよいまちと感じる人の割合は5%減少した。引き続き地域づくりの取組を進めていく。	
住民自治協議会（住民協議会）のまちづくり活動に参加している人の割合	21.7% (R1)	—	48.4% (R3)	48.5% (R4)			40.0%	A	R1と比較して大幅な増となったが、コロナの影響もありR3との比較は微増です。引き続きまちづくり活動の取組を進めていく。	
市民と行政との協働を推進するまちづくりの満足度	2.95/5 (R1)	—	2.94/5 (R3)	2.90/5 (R4)			3.05/5	E	R3よりも満足度は下がっている。引き続きまちづくり活動の取組を進めていく。	

施策名	番号	指標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
コミュニティづくり	1	地域計画の策定	41地区 (R1)	43地区	43地区	43地区			43地区	A	全ての地区において地域計画の策定が済み、17協議会においては、地域計画の見直しが行われた。引き続き見直しを進めていきます。
	2	地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数	40団体 (R1)	42団体	43団体	45団体			50団体	C	Zoomの使い方についての講座や、各種講座でのZoom配信を行うことで、Zoomを使用できる団体を増やし、参加が難しい中でも交流の促進に努めた。次年度の支援につなげていく。
	3	お元気応援ポイント事業団体登録参加数	576団体 (R1)	609団体 (R2)	638団体 (R3)	696団体 (R4)			610団体	A	目標値を達成し、さらに団体登録の参加を促進していく。
	4	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価(H30の現状値はシティマラソンの評価)	62.9点 (H30)	—	—	79.4点 (R4)			90点	C	日本最大のランニングポータルにおいて、12月開催の全国フルマラソン約30大会で第4位(79.4点/100点)の評価を受けた。
	5	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度	3.00/5 (R1)	—	2.98/5 (R3)	2.94/5 (R4)			3.10/5	E	コロナ禍でのスポーツ離れが一因と考えられる。感染症法上の引き下げ(5類移行)もあり、引き続き改善を進める。
これまでの主な取組 ○松阪市地域の元気応援事業市民サポート部門に応募した団体について、げんきアップ松阪について紹介・登録を行った。(R2～)											

松阪市地方創生総合戦略 評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値	R2	R3	R4実績値	R5	—	目標値 (R5)	評価	内部評価
安全・安心	6	災害に対する備えをしている人の割合	41.4% (R1)	—	40.6% (R3)	39.6% (R4)			50.0%	E	R3市民意識調査の結果から1.0ポイント減少している。防災対策の満足度はR3より0.01ポイント上昇、重要度は0.03ポイント減少している。評価結果として「市民が優先し求めている施策」として「最重点項目」に該当することからも、継続して災害への備えの啓発等に取り組んでいく。
	7	浸水対策事業に対する市民満足度	2.77/5 (R1)	—	2.85/5 (R3)	2.82/5 (R4)			2.90/5	D	R3と比較し減となった。今後も浸水被害の軽減を目標に整備を進めていく。
	8	交通事故死傷者数(1月～12月)	334人 (R1)	283人	262人	301人			289人	B	交通安全教育や啓発を実施し、関係機関と連携しながら様々な交通安全対策を実施したが、残念ながらR4交通事故死傷者数は昨年より増加した。
	9	犯罪をなくし安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度	2.95/5 (R1)	—	3.05/5 (R3)	2.97/5			3.00/5	D	犯罪認知件数自体は減少を示しているが、メディア報道の影響もあるのか満足度自体は減少している。
<p>これまでの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内の1級河川及び2級河川における想定最大降雨に対応した洪水ハザードマップの作成と配布を行いました。(R1～) ○地域の実情に応じた防災計画「地区防災計画」策定支援として、各住民自治協議会を対象に「地区防災計画セミナー」を開催しました。(R3年度～) ○令和3年3月「松阪防災の日」制定及び災害対策基本法の改正等に併い平成29年発行の防災啓発冊子「災害にそなえる」の内容を新しい情報に改訂し各戸配布を行いました。(R3年度～) ○三重県より「伊勢湾沿岸〔三重県区間〕高潮浸水想定区域図」が公表されたことに併い、市ホームページに松阪市高潮ハザードマップを作成しました。(R3年度～) ○浸水地域を重点的に浸水被害の軽減に向け、雨水排水路改修工事と雨水排水ポンプの施設整備工事を継続して実施しています。 ○交通安全教育指導員「とまとーず」による交通安全教室を開催しました。(H18～) ○松阪地区生活安全協会、松阪警察署と連携した街頭啓発、出前講座などによる特殊詐欺被害防止をはじめとした防犯啓発活動に取り組みました。(H28～) ○防犯カメラを設置する自治会を対象に設置等費用を支援することで地域の防犯や治安向上を図った。(H30～) ○犯罪被害により日常生活が困難となった犯罪被害者やその家族を支援する制度を創設した。(R1～) ○市内在住65歳以上の方を対象に特殊詐欺等被害防止機器購入補助金制度を創設し、被害を防止する取り組みをはじめました。(R3～) 											